

土のうの作り方

①



- 土のう袋を用意します。
- 土のう袋は縦60cm、横45cm程度の大きさに上部に締めて閉じるひもがあります。

②



- 二人一組で協力して、袋に土を入れます。
- スコップ5～7杯程度の土を入れます。
- 袋の約6～8割ほど土を入れます。

③



- 袋の端のひもを引いて、袋の口を絞ります。

※ 訓練で女性、子ども、お年寄りの方が行う場合は、土の量は袋の半分程度に調整してみてください。

④



- 引いて長くなったひもで、袋の口のまわりを3～4回まわして軽く締めます。

- まわしたひもの内側を、ひもの先を下から上に通して締めると完成です。

※ ひもを上から下に通して締めてもOKです。

(土1㎡あたりで作成できる土のう数の目安)

袋詰め程度	土のう作成数	土のう1袋の重量
5割程度	約100袋	約18kg
6割程度	約80袋	約22kg
7割程度	約70袋	約26kg
8割程度	約60袋	約30kg

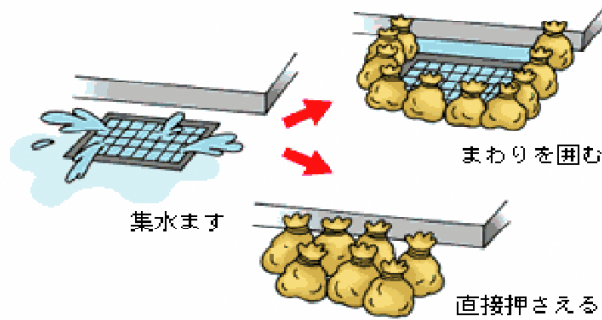
土のうの用法など

土のうにより事前に浸水を防いだり、排水路を作ったりすることができます。締めた口を一方向にして並べ、土のうの上からしっかりおさえましょう。

●家屋への浸水を防ぎます



●排水路からのあふれを防ぎます



●宅地等に浸水した水の排水路を作ります



小規模な浸水であれば、土のうの代わりに日ごろから家庭にあるものを使って浸水を防ぐことができます。

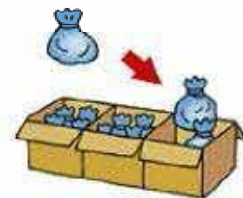
簡易水のう

家庭用の大きいゴミ袋を2～3重にして、その中に半分程度の水を入れて口をしっかり絞って作ります。たくさん作って、出入口などに隙間無く並べて使用します。



簡易水のうと段ボール箱の併用

簡易水のうを段ボール箱に入れて連結して使用します。水のみだけの場合に比べて強度が増しますし、段ボール箱に入れることによって水のを積み重ねて使用することができます。



プランターとビニールシートによる方法

花などを植える土の入ったプランターをビニールシート（レジャーシート等）で巻き込み、連結して出入口などに並べて使用します。

※ プランターの代わりに水を入れたポリタンクも使用できます。

